



日本舞踊に魅せられて

# 戸塚 茂代 さん



**PROFILE** とつか しげよ (82・本町) 若柳 流七世会の吉右近先生に師事。自身も吉右恭として若扇会を主宰している。もともとは美容師をしており着付けもお手の物。

## 師範35年の節目の会を開催

「踊りが好きで、踊りをまだ習っていない頃から地元の盆踊りの振り付けをして教えたりしていた。踊りが生きがい」と話す戸塚茂代さん。今年、日本舞踊の師範になって35年の節目となる。集大成との位置づけで5月に記念の踊りの会「吉右恭・朋と踊る会」を開催する。

戸塚さんが本格的に日本舞踊を行うようになったのは40年ほど前、大阪から来ていた吉右近先生の踊りを見たからだ。その素晴らしさにたちまち日本舞踊のとりこになった。以来、戸塚さんは月に2回、大阪から来る吉右近先生の元で稽古に励み、師範となった。

## 子どもたちにも日本舞踊を

「子どもたちの踊りは本当にかわいくて御前崎市ふれあい広場や池新田公民館のお祭りなど地域の行事にも積極的に参加している。ぜひみなさんに見てほしい」と言う。多

いときには教室で30人ぐらいの子どもたちに日本舞踊を教えていたこともある。「ダンスなどを学校の授業に取り入れていると聞くと、ぜひ日本舞踊も取り入れてもらえたらと思う。日本舞踊は日本の伝統芸能であり文化でもあるので多くの子どもたちに触れてほしい」との思いがある。

## みんなが楽しめる踊りを

自身が主宰する日本舞踊の会「若扇会」以外にも銭太鼓を行う「恭の会」、きずな体操を行う「きずな会」があり、合同で発表会も行う。「銭太鼓は筒状の太鼓を振ったりして音を出す。座って行うため、年配の人でも楽しく踊ることが出来る。地元の人たちにも愛されるものと思って振り付けをした。こうした踊りの振り付けができたのも日本舞踊の基礎があってこそだと思ふ」と参加者への振り付け指導にも熱が入る。

「今後も一生懸命文化の向上に努めていきたい」と戸塚さんの踊りへの情熱は続く。